

B-17 もめん“ふとんわた”の製綿加工剤が圧縮弾性に及ぼす影響

県立新潟女短大 ○多田 千代
佐藤 ミワ
新潟青陵女短大 木藤 半平
広瀬 和

1. 市販のもめん“ふとんわた”には、短繊維の絡合性とかさ高性を向上させる目的で、製綿の最終工程において綿膜表面に加工剤を噴霧し、接着積層しているものがある。ところがこの加工によって、圧縮に対する回復率、天日乾燥による回復率は低下することがわかった。実際着用の場合には、加工わた、未加工わたのこのような物理的特性の差異が、人の感覚を通してどのように判断されるか。この相互関係を調べ、合理的な“ふとんわた”選択の基礎資料を得ることが本研究の目的である。

2. 加工剤：PVA，コロイダルシリカ，尿素メラミン樹脂

試料わた：A未……未加工 } JIS 規格特級品
 A加……加工 }
 B未……未加工 } 規格外市販品
 B加……加工 }

試料ふとん：上記4種のをわたで敷ぶとんを作り、
一冬期間使用

感能検査：2点比較法
 パネル 女子学生40名

圧縮弾性： JIS L 2001 の基準により測定。

3. 検査結果は次のとおりであった。

もめん 敷 ぶとん	物 理 試 験		感 能 検 査	
	比容積 g/cm ³	回復率%	クッション	好ましさ
仕立て直 後	A未 < A加	A未 > A加	A未 < A加	A未 = A加
	B未 < B加	B未 > B加	B未 < B加	B未 < B加
一冬着用 後	A未 > A加	A未 > A加	A未 > A加	A未 > A加
	B未 > B加	B未 > B加	B未 > B加	B未 = B加